

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和01年07月03日

計画の名称	既存の放射状鉄道を環状方向に結節（駅アクセス）することによる広域的交通ネットワークの形成及び沿線地域の連携強化とまちづくりを目指す大阪モノレール延伸事業													
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	大阪府													
計画の目標	現在、大阪空港駅から門真市駅間で営業している大阪モノレールを約9km延伸することにより、新たに地下鉄長堀鶴見緑地線、JR学研都市線、近鉄けいはんな線、近鉄奈良線の4路線と結節（一次アクセス）し、広域的な鉄道ネットワークの形成と沿線地域の活性化を図るものである。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		74,000	A	74,000	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H29当初）	（R1末）	（R3末）
1	大阪都心部から放射状に形成された既存鉄道を環状方向に結節することによる、広域的な鉄道ネットワークの形成			
	-1延伸区間のモノレール利用者（H42需要予測）3万7千人／日	0人	0人	0人
2	大阪都心部から放射状に形成された既存鉄道を環状方向に結節することによる、広域的な鉄道ネットワークの形成			
	-2各駅乗降客数の合計（H42需要予測）（仮称）門真南駅+（仮称）鴻池新田駅+（仮称）荒本駅+（仮称）瓜生堂駅 15,820人／日+6,108人／日+10,559人／日+14,773人／日=47,260人／日	0人	0人	0人
3	事業費の進捗率			
	事業の進捗率	0%	2%	9%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
大阪モノレール延伸事業は平成41年供用を予定しており、整備計画期間の最終年度であるH33末時点では未供用のため指標 -1, -2においては0人としている。												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	大阪府	直接	大阪府	S街路	改築	大阪モノレール専用道	モノレール道整備 L=8.9km	門真市～東大阪 市						74,000	2.43	-	
												小計						74,000		
											合計						74,000			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31	R02	
配分額 (a)	182	196	631	0	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	182	196	631	0	
前年度からの繰越額 (d)	0	84	49	473	
支払済額 (e)	98	231	207	473	
翌年度繰越額 (f)	84	49	473	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	410	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	60.29	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由			補正予算により、年度内契約が困難であったため		